

議会だより はこね



1月7日(土)
箱根地区



1月14日(土)
宮城野地区



1月14日(土)
強羅地区



1月15日(日)
仙石原地区

主な内容

- 10月臨時会・12月定例会結果等 …… P2~3
- 一般質問 …… P4~8
- 畑引山植樹に参加 …… P9
- 箱根駅伝の応援エリア、杉並木を清掃 …… P10
- 令和4年度歳末火災特別警戒巡視 …… P11
- 「仙石原関所の碑」「なみだ橋」、ご存じですか? …P12

どんど焼き

10月臨時会 (10月25日)**議決件数 (1件)****補正予算 (1件) 可決****1. 令和4年度箱根町一般会計補正予算 (第6号)**

補正額 1億1,485万6,000円追加 (光熱水費高騰対策他)

主な内容

- ①緊急支援給付金給付事業…8,824万1,000円 (交付金 8,550万円他)
- ②在宅重度障がい者等支援事業追加…37万5,000円 (扶助費追加 31万6,000円他)
- ③介護保険事業所光熱水費等高騰対策支援事業…195万円 (交付金 195万円)
- ④医療機関光熱水費等高騰対策支援事業…65万円 (交付金 65万円)
- ⑤観光街路灯整備補助金交付事業追加…714万円 (補助金追加 714万円)
- ⑥省エネ設備等更新促進事業…1,500万円 (補助金 1,500万円)
- ⑦総合体育館経常経費追加…150万円 (光熱水費高騰対策支援交付金 150万円)

12月定例会 (11月30日～12月9日)**議決件数 (10件)****条例制定 (2件) 可決**委員会付託 (総務企画観光常任委員会)
会期中審査

- 箱根町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について (議案第60号)
- 箱根町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について (議案第61号)

委員会付託 (総務企画観光常任委員会) 審査

本議案は、定例会におきまして総務企画観光常任委員会に付託されたものであり、委員会は12月2日に会議を開催して、町当局の出席を求め慎重に審査を行いました。

議案第60号、議案第61号はともに、個人情報の保護に関する法律の一部改正が令和5年4月1日から施行されることを受け関係条例を整備するものであり、採択の結果、議案第60号については賛成多数で可決、議案第61号については全会一致により可決すべきものと決定致しました。

※委員会付託・・・本会議での質疑終了後、さらに詳しく検討を加えるため、所管の常任委員会等に審査を託することを本会議において決定する。

条例改正 (5件) 可決

- 箱根町職員の給与に関する条例及び箱根町非常勤職員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について
- 箱根町町税条例の一部を改正する条例の制定について

補正予算（3件）可決

1. 令和4年度箱根町一般会計補正予算（第7号）

補正額 10億1,585万7,000円追加

主な内容

- ①議 会 費…△406万7,000円（議会議員報酬更生減 △313万9,000円他）
- ②総 務 費…9億8,442万9,000円（財政調整基金積立金追加 4億8,395万5,000円他）
- ③民 生 費…△67万5,000円（職員給与費更生減 △1,246万5,000円他）
- ④衛 生 費…3,555万円（ごみ処理費・光熱水費追加 3,044万1,000円他）
- ⑤農林水産業費…205万6,000円（職員給与費追加 205万6,000円）
- ⑥観 光 費…71万3,000円（会計年度任用職員報酬更生減 △576万6,000円他）
- ⑦土 木 費…286万5,000円（町道維持補修工事追加 200万円他）
- ⑧消 防 費…1,160万8,000円（光熱水費追加 376万7,000円他）
- ⑨教 育 費…△1,662万2,000円（職員給与費更生減 △1,637万4,000円他）

2. 令和4年度箱根町水道事業会計補正予算（第1号）

補正額 770万円追加（光熱水費高騰対策他）

主な内容

- ①原水浄水費追加…455万円
- ②配水給水費追加…315万円

3. 令和4年度箱根町公共下水道事業会計補正予算（第1号）

補正額 2,410万円追加（光熱水費高騰対策他）

主な内容

- ①処理場施設管理費…1,600万円
- ②ポンプ場施設管理費…810万円

議会議事案件（1件）

継続審査（1件）

- 箱根町議会議員の適正定数に係る調査に関する決議について
 ※箱根町議会議員適正定数調査特別委員会に付託されていましたが、引き続き継続審査となりました。

選 挙（1件）

- 南足柄市外四ヶ市町組合議会議員の選挙
 ⇒議長の名指推薦による選挙により稲葉親太郎議員に決定しました。

議員別議案賛否一覧（賛否等が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています）

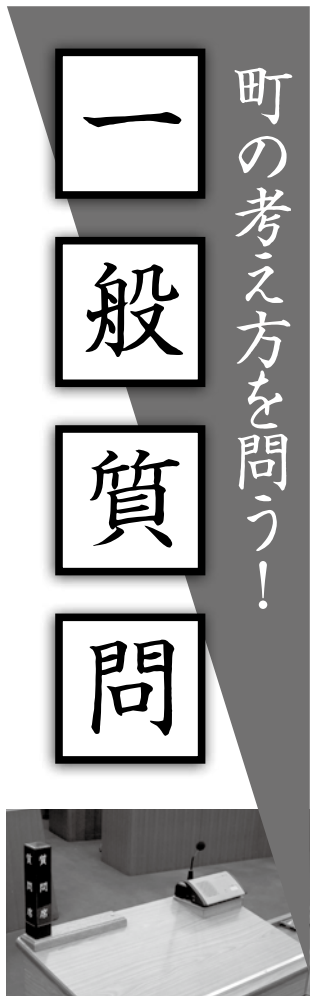
議案番号	議案名	議決結果	山田和江	鈴木美貴	勝俣陽二	佐藤章子	川口延明	勝俣剛一	村野由紀子	勝俣泰彦	稲葉親太郎	遠藤秀則	折橋尚道	沖津弘幸	山田成宣
60	箱根町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	可決	×	×	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	—
61	箱根町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	可決	×	×	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	—
63	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	—
64	箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	—

※ ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 —：議長は採決に参加しません。

12月定例会では、町政全般へ8人の議員が、15項目にわたる一般質問を行いました。質問者及び質問項目は、下の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものとなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問内容	ページ
勝俣 陽二	・クマの出没に対する町の対応について ・新型コロナウイルス感染症患者に対する町の対応について	4
佐藤 章子	・就学前児童の子育て支援における現状と今後の予定について ・町が設置している公衆トイレの現状について	5
稲葉親太郎	・若者を含む定住促進について	
村野由紀子	・協働のまちづくり推進について ・男女共同参画・人権尊重の推進について ・防災・減災対策について	6
沖津 弘幸	・令和5年度予算編成について ・町政の諸課題について	
山田 和江	・パートナーシップ制度の導入について ・高校生までの小児医療費助成制度の拡充について ・箱根湿生花園の職員体制の充実について	7
鈴木 美貴	・令和4年度町長施政方針について	
川口 延明	・町と企業等が締結している協定について	8

※ **Q** は議員の質問、 **A** は町側の回答です。



クマの出没に対する町の対応

町…人身被害の防止に努めていく

Q 季節性インフルエンザとコロナウイルス感染症の流行・いわゆる「第

A 環境課長 防災行政
無線による注意喚起を
実施したのは仙石原での1件
のみですが、人身被害を防止
するための方法として防災行
政無線の使用により迅速に注
意喚起ができることは大変効
果的であると考えている。

Q 地域住民の多くの
方々からなぜクマ出
没・目撃情報に対し、情報
を防災行政無線で流さない
のかという疑問の声を聞く
中で、速報としてその情報
をいち早く地域住民及び観
光客に流し、一番危険度が
高い「クマと人との突然の
出会い」による人身事故を
回避するための、最善の策
として「防災行政無線の使
用」を行うべきではないか
と思うが、このことについ
て町の見解を伺う。

A 町長 発熱外来とし
て町内で登録されてい
る医療機関は現在、1カ所で
あり、なかなか難しい問題で
あると感じているが、小原
医師会とも連携しながら医療
体制づくりに努めていく。

Q 8波」との同時流行が現実
となると、第7波よりも発
熱外来がひっ迫することが
予想されるなかで町長はこ
の事態に備えて箱根町の医
療体制の強化についてどう
考えているのか、町長の見
解を伺う。

A 町長 発熱外来とし
て町内で登録されてい
る医療機関は現在、1カ所で
あり、なかなか難しい問題で
あると感じているが、小原
医師会とも連携しながら医療
体制づくりに努めていく。



勝俣 陽二 議員



就業前児童の子育て支援における現状と今後の課題

町…子育て支援に向け官民協働事業も開始した



佐藤 章子 議員

Q 子育て支援内容と町独自の取組みは。

A 町長 子育て支援における町独自の取組みは、0歳から5歳までの全てに子供の保育料と給食費を無償化しており、その他、誕生祝金として、第2子は10万円、第3子は20万円です。県内でもトップクラスの額の祝い金を給付している。

また、産後ケアの実施や新生児聴覚検査及び産婦検診費用の助成を行って子育て世帯を支援している。

今後も、安心して子育てを続けられる環境作りの一環として、子育てに協力してくれる方々を自主登録いただき「子育てシェアタウン推進事業」を新たに今年から始めている。

Q 町設置の公衆トイレの現状は。

A 町長 町設置のトイレは現在おおむね洋式



化が終了し、全ての個所ではないが障がい者や高齢者にも対応したトイレ整備がされており一定の水準に足していると思う。

一方、経年劣化にも配慮し計画的な整備を進めたいと考えている。

公衆トイレの有料化については、過去にも質問があったが、主なる利用者の観光客からは入湯税という財源をいただいていることや、有料化防犯の視点等、考慮すべき問題をクリアしなければならぬので現在、具体的な検討には至っていない。

若者を含む定住促進を問う

町…子どもを産み育てやすい環境の構築を図ることで若者定住促進につながる



稲葉 親太郎 議員

Q 若者定住の促進に係る新たな施策は。

A 町長 今年度の取組としては、三つの施策の一つ目「空き家バンクの民間委託」は現在実施している空き家情報の提供事業を、令和元年度からトライアルステイを委託している、民間の移住支援団体に今年度から新たに委託している。具体的な内容としては、空き家所有者から空き家バンクへの登録や相談があった場合に、空き家所有者とのヒアリング、各種調査を行った後、活用方法の検討案の作成、リフォーム概算額の算出を行うなど、所有者とともに空き家利活用の方向性を検討し、空き家バンクへの掲載記事を作成する。

二つ目「滞在型サテライトオフィスのお試し体験制度」はサテライトオフィスなどを地方に設けることを検討している企業を対象に、一定期間

滞在しながら、社員の皆さんに箱根でリモートワークを体験していただき、その後のサテライトオフィス等の誘致、また、社員の移住につなげる「トライアルステイの企業版」といった新たな取組み。三つ目「子育てシェアタウン推進事業」は親子の交流促進と専用アプリを活用した子どもの預かりや送迎などの相互頼りあいの仕組みを構築するもので、ノウハウのある企業に委託した。



パートナーシップ制度導入を！

町…導入に向けて準備する

の考えは近隣市町村の状況
 ファミリーシップ制度導入
 入に向けて準備する。また、
 パートナーシップ制度の導
 入に向けて準備する。また、
 する関係を証明書発行する、
 カップルに対し、結婚に相当
 として自治体が独自に同性
 者の人権を尊重する取
 組みとパートナー関係にあ
 る成人カップルが二人と一
 緒に暮らす子どもを含めて
 家族として届け出を自治体
 が受理し証明書などを交付
 するファミリーシップ制度
 の導入の考えは。

Q L G B T ・ 性的少数
 者の人権を尊重する取
 組みとパートナー関係にあ
 る成人カップルが二人と一
 緒に暮らす子どもを含めて
 家族として届け出を自治体
 が受理し証明書などを交付
 するファミリーシップ制度
 の導入の考えは。

A 町長・福祉課長 町
 では、人権擁護委員と
 ともに人権啓発運動、町職員
 の人権研修への参加など人
 権意識の向上に努めている。
 教職員は、人権教育研修等
 行っている。児童・生徒は、
 德育の中で人権に関するプ
 ログラムを構成し設けてい
 る。また、具体的な取組み
 として自治体が独自に同性
 カップルに対し、結婚に相当
 する関係を証明書発行する、
 パートナーシップ制度の導
 入に向けて準備する。また、
 ファミリーシップ制度導入

Q コミュニティ活動を
 している地域の住民か
 ら仙石原公民館の階段が危
 ないのでエレベーターの設
 置の声が上がっているが考
 えは。

A 生涯学習課長 設置
 場所を内部か外付け
 か、施設の耐久性など専門
 家に調査依頼し、設置に向
 けて調査・研究する。

Q 個別避難計画の取組
 みは。

A 福祉課長 個別避難
 計画は、要援護者一人
 ひとりに対し、誰が、どのル
 ートでどこに避難させるかな
 ど、個別の計画を作成する
 もの。作成に向けて調査研
 究する。



村野 由紀子 議員

町政の諸課題

町…医療費助成の対象を高校生までに拡大！！

また、脱炭素社会の推進
 は、とても重視しているテー
 マであり、今後も地域循環
 共生圏の構築に向けた検討
 を進める中で脱炭素先行地

Q 「脱炭素社会の推進」
 について、町ではどの
 ような目標のもと、脱炭素
 社会の推進を図っていくも
 のかについて伺う。

また、町は環境先進観光
 地―箱根を標榜しているこ
 とも踏まえ、国が推し進め
 ている脱炭素先行地域への
 応募についてどのようにお
 考えか伺う。

A 町長 箱根町第3次
 環境基本計画に基づき
 実行計画では、本庁の区域
 における温室効果ガス排出
 量削減のための目標を定め
 ており、中期目標で令和12
 年度までに、平成25年度比
 で46%削減の7万6千トン
 とし、長期目標で令和32年
 度実質ゼロを目標とします。

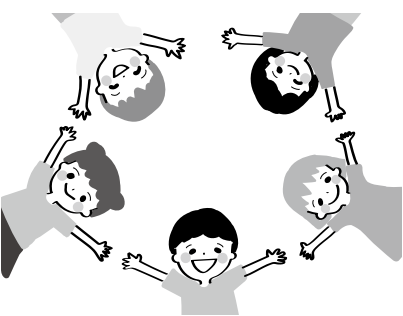
また、通学費補助金の保
 護者負担軽減について検討
 していく。

Q 「子育て支援の充実」
 について、町では「子
 育てするなら箱根町」を標
 榜し、町長も取り組んでお
 り、そこで、医療費助成制
 度と高校等通学補助制度の
 2項目を、町長に伺う。

A 町長 令和5年度予
 算で、医療費助成の対
 象を高校生まで拡大する検
 討を行う。



沖津 弘幸 議員



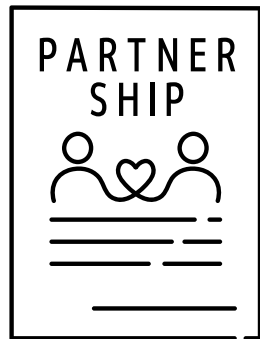
人権を守り、差別や偏見を許さない多様な性を認める箱根をつくるためにもパートナーシップ制度の導入を

町… 人権尊重の推進の観点からも大変重要で意義ある制度、導入の準備をしている



山田 和江 議員

Q 11月1日、首都東京で「パートナーシップ制度」が開始され、人口の約6割の自治体に広がった。県内でも27の自治体で導入され、今や制度を導入していない自治体は少数となっている。3月定例議会でもわが党が取り上げたが、私は当事者の方と知り合う機会があり当事者としての不安や問題点などを聞くことができた。箱根は国際観光都市として年間2,000万人近い観光客が訪れている。その中には多様な性自認を持つ方々が来訪していると考える。箱根で住民や働く人はもとより、観光客の人権を守ることは重要な課題であると思う。差別や偏見を許さない多様な性を認めるダイバーシティ箱根をつくるためにも「パートナーシップ制度」の導入は欠かせないが。



A 町長 町の総合計画でも掲げている人権尊重の推進の観点からも大変重要で意義ある制度であると考えている。「パートナーシップ制度」は自治体が公に、二人がパートナーとして今後支え合って生きていくと誓い合ったことを証明するものでその後の人生を生きて行く上で自尊心に大きく影響してくるのではと考えており町として導入の準備をしている。

箱根町の外国籍住民の支援は

町… 安心して暮らし活躍できる環境づくりを模索する



鈴木 美貴 議員

Q 外国籍の住民の多い他市町のように専門の窓口や専門の課の設置の考えは。

A 町民課長 来年度から、関係機関と協力しながら、実際に外国籍住民が抱える課題やニーズを把握し、必要とされる支援策を検討するなかで、「資源とごみの出し方・分け方ガイド」概要版の英語での作成を検討している。

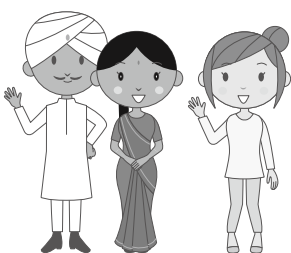
Q 2050年カーボンニュートラル・脱炭素社会実現に向け、エネルギーの地産地消について具体的な取組みは。

A 環境課長 本年7月に再生可能エネルギー設備導入補助金制度を創設し、創エネ・省エネ・畜エネに町民の方々が取り組む動機付けとなるように、今後も周知・啓発に努めるとともに、町関係施設各所に

も設置しており、今後も施設の改修時には、再生可能エネルギーへの切り替えを検討し、脱炭素社会実現に向け取り組んでいく。

Q 経済刺激策、観光支援策のクーポン券の電子化に対応するための高齢事業者向け、キャッシュレス支援は。

A 観光課長 国県が行う次元的な制度は、市町村と共同で行う事は考えておらず、町が支援するには準備期間等を考慮すると不可能と考えられる事から、各事業者自らが、ICT利活用能力を身に着ける事が必要になると考える。



大手企業と協定を結んでいるが

町…「官民協働の街づくり」の一環である



川口 延明 議員

Q 本年、大手民間企業4社、(株)ゴールドウイン、(株)日立システムズなどと立て続けに連携協定が締結されているが目的は。

A 町長 ゴールドウイン社とはアウトドアを通じた体験や学びに関する知見、本町の持つ自然環境の双方の資源を有効活用し、連携して事業に取り組み、地域活性化や自然環境の保全と次世代を担う子どもたちの明るい未来の実現を目指す。

日立システムズとの協定締結は令和4年3月まで、旧箱根観光物産館に、国道1号線を通行する車両ナンバーを読み取るAIカメラを小田原・宮ノ下方面のそれぞれに設置し、映し出した画像から、ナンバープレート情報をデータとして読み取り、さらに、通過時刻を加えたものを、通行した車両のデータとして蓄積した。

これらデータからは、通行車両の登録された地域、車両形体、営業車か家用車かの違い、タクシーやレンタカーなどとの違い、流入の時刻など、様々な情報がほぼ期待どおりに可視化できることを確認した。

また、追加で乙女観光案内所付近及び道の駅箱根根付近にそれぞれ、上下線の車両のナンバーを読み取るAIカメラを設置したので通行車両の居住地域、流入の時刻、滞在時間の傾向、移動ルート、来町回数など観光客の周遊パターンなども取得できるので渋滞や動向分析に繋げる。



箱根町議会議員適正定数調査特別委員会



箱根町議会では、9月定例会において箱根町議会議員の適正定数について調査することを決議し、「箱根町議会議員適正定数調査特別委員会」を設置しました。

特別委員会は、去る11月22日に会議を開き、議員の適正定数について、協議を行ったものでありますが、さらに協議を深めていく必要があることから、引き続き継続審査となりました。

箱根町議会議員適正定数調査特別委員会

委員長 稲葉 親太郎

畑引山植樹に参加

- 令和4年11月9日（水）実施
- 参加団体 箱根地域自治会、小田原箱根商工会青年部、箱根町箱根観光協会、小田急箱根ホールディングス、一般社団法人箱根町観光協会、箱根温泉旅館ホテル協同組合、箱根町建設業協会、造園事業者、林業事業者、町議会議員



植栽に先立ち、町長から感謝の言葉



植栽場所へ移動



植栽場所は困難な急斜面



植栽終了後、みんな揃って笑顔で撮影

芦ノ湖を眼下に、雄大な風景をもつ畑引山町有林にて、町が進める水源かん養機能に着目した、豊かな森林づくり事業について理解を深めることを目的とした、ボランティア植栽に参加しました。

当日は、ボランティア42名がスコップや鍬を振るい、苗700本を植えました。この日植えられたのは、イロハモミジ、ヒメシヤラ、ヤマボウシ、ミツマタの広葉樹。付近には散策路があり、将来観光客が楽しむ姿が想像できます。今後の成長が非常に楽しみです。

神奈川県町村議会議長会 自治功労者表彰・議員研修会



議会議員として11年にわたり、地方自治の発展振興に寄与した功績により8名の方が表彰され、表彰式終了後「歴史家・作家」の加来耕三氏により、「歴史を学び、未来を読む」をテーマにした講演が開催されました。

日時：11月10日（木）
場所：愛川町文化会館



箱根駅伝の応援エリア、杉並木を清掃

正月の2日、3日に行われた「箱根駅伝」の見学観光客を気持ち良く迎えようと、今回も箱根町議会の観光振興議員連盟と箱根町教育委員会、地元建設事業者さんとで昨年12月14日（水）に箱根杉並木（約500m）の草刈りや清掃作業を行いました。この場所は箱根駅伝の走路と並走しているゴール手前のため見学者の移動が頻繁に行われる**応援エリア**の一つです。



箱根町交通安全総ぐるみ大会

令和4年12月17日、仙石原文化センターにおいて第2回箱根町交通安全総ぐるみ大会が神奈川県小田原警察署、小田原交通安全協会、箱根町交通安全母の会、箱根町の後援で開催されました。町長の挨拶に続き、功労者及びコンクール入賞者の表彰が行われ締めくくりに箱根町交通安全母の会会長 瀬戸道子様安全宣言をし終了しました。



箱根町男女共同参画講演会

令和4年12月15日、仙石原文化センターにおいて箱根町主催、かなテラス共催にて「箱根町男女共同参画講演会」が開催されました。

講師に歌手として活躍されている木山裕策氏を迎え「ワークライフバランス」をテーマに働き方も家庭も夢も自分らしくと呼びかけ、自分自身病気をきっかけに人生を見直したと語り、仕事と生活の調和について講演されました。最後にミニコンサートで大ヒット曲「home（ホーム）」を披露され終了しました。

誰もが多様な生き方を選択・実現できることを説いた有意義な講演でありました。



令和4年度歳末火災特別警戒巡視



歳末は、生活の繁忙と火気使用の増加により、火災の発生する危険性が増すことから、防火意識の高揚・火災発生への未然防止を目的に12月26日から31日まで歳末火災特別警戒が実施されました。

平時での活動に加え、警戒期間中には夜間における初動態勢の確保や夜間巡回警戒を適宜実施するなど消防本部・消防署・消防団が寒さ厳しい中、警戒態勢を更に強化し、住民の方々が無事に新年を迎えられるよう活動しました。また、27日には町長・議長・総務企画観光常任委員長を始め関係者と町内を巡視し、各分団等に感謝と激励の言葉を述べました。

総務企画観光常任委員会
委員長 稲葉 親太郎

議会だよりモニターを募集します！

～一緒に議会だよりを作りましょう～

議会活動をお知らせする「議会だよりはこね」の内容の充実・改善を図るため、議会だよりモニターを募集します。ご応募お待ちしております！

◆職務内容

- 1 発行された議会だよりに関し、意見や提案等を述べる
- 2 地域の情報等を提供すること
- 3 アンケート調査等に回答すること

◆応募資格

- 1 満18歳以上で、町内にお住まいの方
- 2 議会活動に深い関心を持ち、かつ公正な社会見識を有する方
- 3 町職員ではない方



◆募集期間

令和5年3月31日まで

◆募集人数

5人以内

◆任期

令和5年5月1日から令和7年4月30日までの2年間

◆応募方法

議会事務局までご応募ください。(Tel 85-9570、Fax 85-8656)

◆選考方法

町民皆さま全体の意向を代表する構成となるよう、年齢や性別、地域等を考慮し、議長及び委員会において選考を行います。

「仙石原関所の碑」「なみだ橋」、ご存じですか？

○仙石原関所の碑

仙石原関所を世に知らしめるため、大正11年に底倉つたや旅館主人 澤田^{ササキ}鉦義氏により建立されました。

○なみだ橋

天保11年（1840）祭文読み一行（男4名、女2名）が、小田原方面から仙石原関所手前で左に入り、姥子付近を通って、沼津へ出ました。（関所破り）そのため、沼津宿の手前でとらえられ、仙石原へ連れてこられました。小田原藩士による取り調べのため小田原へ連れて行かれ、この橋を通過する時に関所を振り返り、涙を流したと伝えられていることから「なみだ橋」といわれています。

男は処刑後、宮城野宝珠院に埋葬されました。

女は関所で門前払いされ、宝珠院で尼となり、処刑された男を供養して過ごしました。

○場所↓「仙石バス停」付近

（投稿者 広報広聴委員会

勝俣 陽一 委員）



なみだ橋（国道138号線 仙石原郵便局付近）



仙石原関所の碑（国道138号線 仙石原交差点付近）



祭文読みのお墓（宮城野宝珠院）

3月定例会の日程（予定）

本会議

2月21日（火）、3月2日（木）、7日（火）、8日（水）、10日（金）、15日（水）、16日（木）

※2月14日（火）開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。

詳しくは、議会事務局（☎85-9570）までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。

広報広聴委員会

委員長
副委員長
委員

勝俣 陽一	川口 延明	勝俣 泰彦
勝俣 剛一	稲葉親太郎	遠藤 秀則